

0・2 ha、豊岡三谷地区が3・7 haある。今後、市が積極的に進めていく遊休農地削減に向けた対策を伺う。

答 平成27年度に農地法が改正され、農地の利用集積を図るため、農業委員に加え農地利用最適化推進委員が新設された。これにより、農地の集積・集約化を強化し、農地の利用を促し、遊休農地の解消に努めていきたいと考えている。

御油・金野・大塚線の一体的取り組みについて

問 県道豊川蒲郡線改良促進同盟会の総会で、御油・金野・大塚線として一



体的な取り組みを提案されたが、市の考えは。

答 今の県道豊川蒲郡線改良促進同盟会を変更するのか、新たに建設促進同盟会を立ち上げるか関係者と協議したい。大塚金野線は市だけでなく、豊川市の一部も関係しているのので、両市の共通認識として要望活動を進めていきたいと考えている。

牧野泰広（自由クラブ）

蒲郡版ティーム・ティーチングを

問 授業中に落ちつきなく、時には教室から出ていこうとする児童を1人の教員が面倒を見るには余りにも負担が大きい。蒲郡版ティーム・ティーチングとして、教員免許を必要としない補助員を採用し、朝から給食が終わるくらいまで小学校低学年のクラスに配置してはどうか。

答 教員が担う職務範囲は広範囲に及び、学習指導だけでなく生活指導、アレルギーなどの健康安全対



応、家庭訪問、部活動、さらに近年対応が増加している特別に支援が必要な子どもへの個別指導、外国籍児童・生徒への対応等がある。こうした課題に対応する特別支援教育指導補助員、心の教室相談員等の配置を拡充した。今後も養護教諭を支援するスタッフなどの増員を検討している。

小学校低学年に限らず、教員が子どもたちと1対1でじっくりと向き合うことほどの学年でも大切だと考えている。教員が本来の職務範囲に集中できる環境づくりも今後しっかりと研究していきたい。

日恵野佳代（無党派・日本共産党）

地域医療構想について

問 県が策定する地域医療構想案のとおりにはベッド数が削減されたら、市民病院や本市の地域医療を守ることができない。反対の意見を県に出して欲しいと6月議会でも求めた。意見を出すにあたって市民のほか、医師や介護施設などの関係機関にも意見を聞くべきと考えるが、どうか。

答 本市における医療体制の中核を担う市民病院の意見を中心にまとめていきたい。

問 どのような意見を出す予定なのか。

答 本市には、市民病院以外に急性期医療を担える病院がない。また、市民病院には、地域ニーズに合った入院を中心とする質の高い医療を今後も提供する責務がある。現在の医療提供体制と機能を維持しつつ、市民と周辺地域住民を含めた約12万人の命を守る病院



地域医療を守る市民病院

として地域医療を守っていくという考えに変わりはないので、市民病院の現ベッド数を削減する考えはない。このような考え方を中心に意見を早急に取りまとめ、県に伝えたい。

鈴木貴晶（自由クラブ）

市民病院のさらなる待ち時間対策について

問 神奈川県大和市立病院では、早期採血や採尿をすることで待ち時間対策に一定の効果があつたと聞

答 患者が集中した場合などは検査結果が出るまでに時間がかかってしまう。